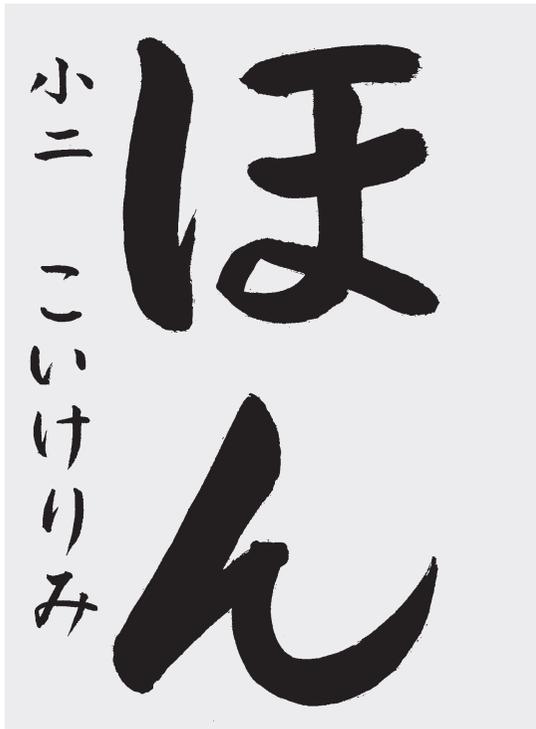


〔5月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

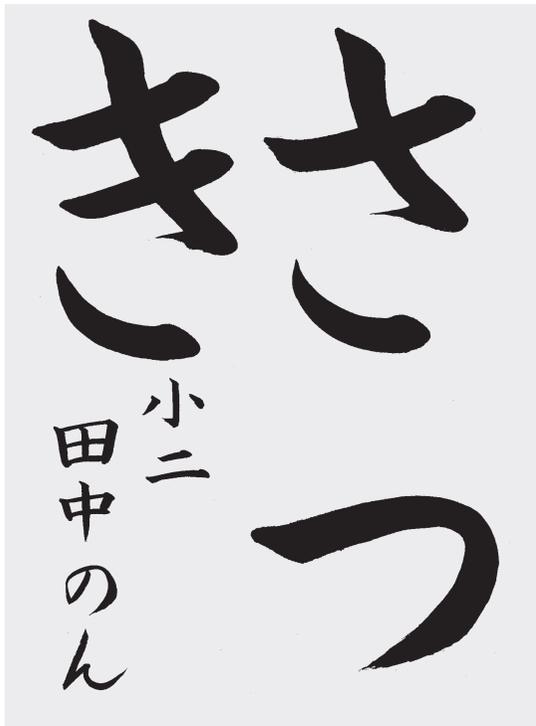


小池 蹊舟 先生

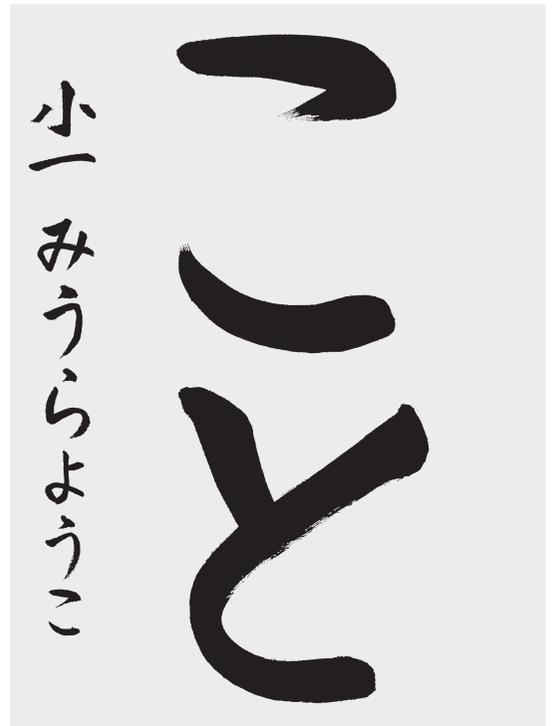
幼・小学1年参考手本



島田 白露 先生



工藤 永翠 先生



板垣 洞仙 先生

〔5月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



三浦鄭街先生

小学3年参考手本



稲垣小燕先生



尾形澄神先生



川島舟錦先生

〔5月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



北村白琉先生

小学5年参考手本



名越蒼竹先生



種谷萬城先生



小竹石雲先生

〔5月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



坂本素雪先生



辻元大雲先生



石井明子先生



広瀬舟雲先生



効果

左右の払いを  
一対で最大幅に

左払いと斜めの画は  
ほぼ直交する

〈筆順〉

一六 交 効 効  
ㄇ 日 旦 甲 果 果  
〈許容〉 はなす 止め  
方向 ① はなす 止め  
② はね 止め

ポトイ

〈字源〉

保保ホ

伊イ

无の草書化の簡略化・ㇿ撥ねる音の  
記号ㇿから変化

止ト

※カタカナの字源は  
漢字の点画を省略  
したもの

○半濁点  
左下から  
時計まわり

感激

そりは長く

〈筆順〉

ノ 厶 厶 厶 厶 厶 厶  
シ 汙 洩 洩 洩 洩 洩 洩

クラブ  
活動

〈字源〉

クク はなす  
良良ラ 重  
不不フ

〈筆順〉

シ 汗 汗 汗 活  
ニ 旨 重 重 動 動

【点】



- ⑦ ゆっくり筆を下ろす
- ① 筆圧をかえずに、右下に短く引く
- ② 軽くおさえてから、左上に筆を上げる

純真

線の連続

筆順の変化

な心

つながる気持ちで  
点画の省略

なふ  
なみ

突き返す

連続した線

〈万葉集〉

藤波の花は、盛りになりけり  
平城(なら)の京(みやこ)を、  
思はずや君

〈作者〉

大伴四綱(おほとものよつな)

〈現代語訳〉

藤の花がいっぱい咲きましたね。  
これを見ていると奈良の都のこ  
とを思ってしまうますでしょう。

※藤波―花房が風になびくさまを  
波に見たてた。

連続を用いない参考作品

なふ  
なみ

ひらがなの字源

(366)

み	な	じ	ふ	源字	字形
美	奈	之	不		
美	奈	之	不		
美	奈	之	不		
美	奈	之	不		

※源字については、異字体から変遷したものに\*印を付して( )にその字体を記した。  
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

「国語科書写の理論と実践」  
全国大学書写書道教育学会編より転載





〔5月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名			
段・級			
学年	とを万緑	木の緑	初夏
名前	という。	におおわれたこ	辺り一面が草
	西城紗月		

支部名			
段・級			
学年	てかがやいて	葉が、太陽の光	運動場の周り
名前	いる。	を浴び	のわか
	日向陸斗		

中心  
  
 〔筆順〕  
 糸糸糸紵紵緑  
 万緑…草木が見渡すかぎり緑であること。

中心  
  
 〔筆順〕  
 一 一 万  
 中央で浅く接する

〔万緑〕  
 文字の外形を見て形を整えましょう。  
  
 「ネ」衣(ころもへん)の筆順、  
 ネイネネ  
 ※ネは示(しめすへん)

〔わか葉〕  
 漢字の外形を見て、正しく整えて書きましょう。  
  
 〔筆順〕  
 ㇿ(こざとへん)の筆順  
 ㇿ ㇿ ㇿ

〔葉〕  
  
 〔筆順〕  
 ㇿ ㇿ ㇿ ㇿ ㇿ ㇿ ㇿ ㇿ  
 四画目が一番長い

〔運動〕  
  
 〔筆順〕  
 「つくり」の力を下に  
 最後の画の長さ方向が大切

〔5月8日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン、ボールペン。筆ペンは不可。

支部名	よく使われました。 まの「は夜の枕詞です。和歌で よく使われました。」は旅、「ぬばた
段・級	
学年	
名前	
長岡明花里	

支部名	よく使われました。 まの「は夜の枕詞です。和歌で よく使われました。」は旅、「ぬばた
段・級	
学年	
名前	
長岡明花里	

連続と省略

和歌 可 可 可

つながる 気持ちで

禾 ↓ 禾

旅

終筆の変化 く ↓ く

筆順をまちがえない

言

・行書のワンポイントアドバイス

中心

中心

言

枕

言の横画は右上がりに

口の下に空間ができるように

丸味をもたせながら 方向を変える

『くさまくら』

行がゆがまないように気をつけて書きましょう。



# 書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

## 第62回 横書きの読点は「、」「、」「どっちら？」

小学校書写教科書の横書き硬筆手本（課題）を初めて見たとき、読点の書き方にとっても疑問を持ちました。文中の切れ目ごとに「、」（点）を用いることを教わったのに、横書きの硬筆手本は「、」（コンマ）を用いて書かれているのです。私たちは、通常、縦書き、横書きどちらで記す時も「、」とするのに、教科書だけは、なぜコンマを用いているのかとても不思議でした。（現行本でも見られます。）その昔、どうしても気になったので担任の先生に尋ねると、「どちらでもいいんだよ」といわれたように記憶していますが、これでは疑問が大きくなるばかりでした。

それから年月を経て、「公用文作成の要領」「公用文改善の趣旨徹底について」（昭和27年4月4日内閣閣甲第16号内閣官房長官依命通知）というものがあり、これによって、公文書作成時、横書きにはコンマを用いることが通達されたことを知り、謎が解けたのでした。日本では古くは句読点を記す習慣がなく、明治になって多くの人々に文章を読みやすくするため、句読点が用いられるようになりました。このようになっただけでは、急激な西洋化が進む中で、英語の文章内で使われていたコンマやピリオドに影響を受けたからといわれます。そして戦後にこの要領ができ、七十年を経て

もこの通達が生きていたためで、ようやく文化審議会国語分科会によって見直されることとなり、「新しい「公用文作成の要領」にむけて」（報告）が令和3年3月12日に作成されました。この中の「1-5 符号の使い方」の「(1) 句読点や括弧の使い方」が新しく改訂され、次のように記されました。

句点には「。」読点には「、」を用いる。横書きでは、読点に「、」を用いてもよい。句点には「。」（マル）、読点には「、」（テン）を用いることを原則とするが、横書きでは事情に応じて「、」（コンマ）を用いることもできる。

つまり、今までは、横書きの公用文では、読点に「、」を用いなくてはならなかったものがはっきりと、「読点には「、」を用いる」と記され、コンマは「用いてもよい」という表現に変わったのでした。この報告を受けて、今年1月7日に「公用文作成の考え方」が文化審議会から建議され、同月11日に内閣官房長官依命通知によって広く周知されました。これでようやく横書きの公用文の読点はコンマである必要がなくなりまし。今年からようやく正式に教科書執筆上でも横書き読点は「、」でよくなったといえます。ちなみにコンマとカンマは、発音の差によるもので同じものです。

今 月 の ホ ー プ



力強い筆運びで、堂々としています。点画の押さえ方も安定し、落ち着いた書きぶりです。名前も立派です。



力強い線で堂々と書き立派な作品です。点画や、払いも見事で、落ち着いた安定感のある作品になりました。

小五 諏訪仁美 (颯雪支部)

支部名	淳香	「我田引水」とは我が田に水を引く。転じて、自分の都合のよいようにすることである。
段・級	四	
学 年	中一	
氏 名	須永璃々子	

強いタッチで正確に一気に書き上げた作品です。本人の非常に一生懸命に取り組む姿勢が感じられます。

支部名	華芳	ながれだしました。雪どけ水が谷川に
段・級		
学 年	三	
名 前	村山季位	

漢字、ひらがな共に基本の勉強がしっかりできていて素晴らしい作品。伸びやかな文字がとても魅力的な作品です。

小三 村山季位 (華芳支部)

小六 高梨安弥佳 (惠泉会支部)

中一 須永璃々子 (淳香支部)

# 書道芸術学生版 春季昇段級試験規定

・毛筆  
・硬筆

一、しめきり日 5月8日(日)

一、発表 表 5月下旬

## 毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

- 幼・小学校一年生 とも(かいしよ)
  - 〃 二年生 まり(かいしよ)
  - 〃 三年生 はれ(かいしよ)
  - 〃 四年生 大石(かいしよ)
  - 〃 五年生 努力(かいしよ)
  - 〃 六年生 歴史(かいしよ)
  - 中学校一年生 快走(楷書か行書)
  - 〃 二年生 登校(楷書か行書)
  - 〃 三年生 創造(楷書か行書)
- 一、受験料 各部一点 五〇〇円

毛筆  
硬筆 } 共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書 体

○小学生は楷書(かいしよ)

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が毛筆で書く。(幼・小一の方は、学年を書かなくてもよい)

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかりと貼付する。

(毛筆・硬筆共)

のりしろ	
神田 書道 太郎	
	① 1013021200013 五段
昇試 (5月8日締切)	
① 毛筆	
神田 中3	
書道 太郎	
五段	
	
1013021200013	

○応募書類は4月下旬に6月号といっしょに、受験番号を記入した応募書類と「昇段級試験用」バーコード出品券を送付します。

○毛筆・硬筆とも左図のように記入して出品する。  
作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

一年	しよどう	たろう				
	と	も				
			○○○○			
			↑	例 1001		
				団体番号		

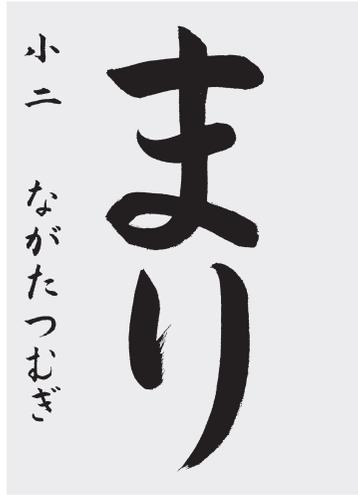
※5月号の購読部数を越える受験はできません。

小学 3 年



川島舟錦先生

小学 2 年



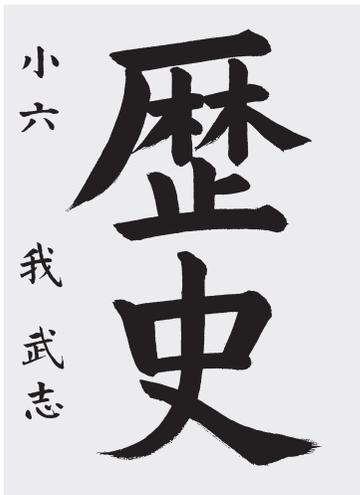
名越蒼竹先生

小学 1 年



広瀬舟雲先生

小学 6 年



広瀬舟雲先生

小学 5 年



川島舟錦先生

小学 4 年



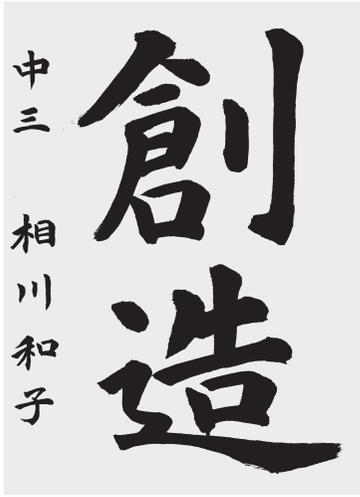
名越蒼竹先生

中学 3 年

中学 2 年

中学 1 年

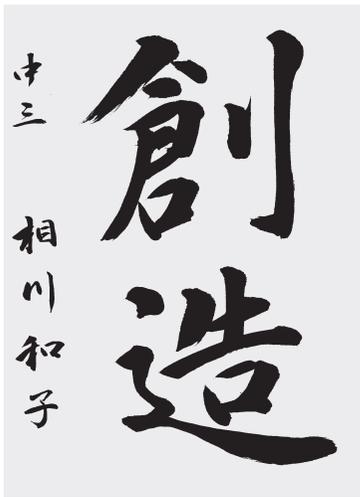
楷  
書



辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生



行  
書

辻元大雲先生

小竹石雲先生

種谷萬城先生



支部名	明朝体は、新聞・雑誌・本でよく見かける活字体で、読まれることを目的として作られた。
段・級	
学 年	
名 前	
中二	岡田 誠一

支部名	あさはぎ色をして、は、確かに海へと続く。あの坂の上の空の色
段・級	
学 年	
名 前	
六	城之内里加

支部名	散るのを見ました。あかつきの空に光ってぱつと、白い羽が、
段・級	
学 年	
名 前	
五	伊東アン

ご注文は、専用の払込取扱票にて前納でお申込みください。  
 払込取扱票をお持ちでない方は事務所へご連絡ください。

春季昇段級試験で硬筆の部を受験される方は、本院指定の用紙（月例と同じ用紙）を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさに合わせて切って出品してください。

支部名	明朝体は、新聞・雑誌・本でよく見かける活字体で、読まれることを目的として作られた。
段・級	
学 年	
名 前	
中二	岡田 誠一

春季昇段級試験

硬筆の部

を受験される方へ

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用      ③ 4・5・6年生用
- ② 2・3年生用      ④ 中学生用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙 9冊以下 (1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

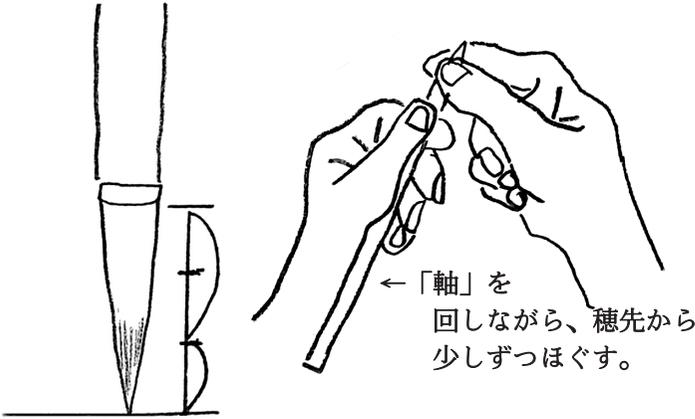
10冊以上のご注文は、送料無料。

小・中学校の書写では、軸の直径が約1.3cm、穂の長さ5cm前後の筆がよく用いられている。  
**毛筆** 兼毛筆（柔毛と剛毛を組み合わせで作られた筆）で固め筆（穂をフノリで固めたもの）が学習に適している。

## 筆のおろし方

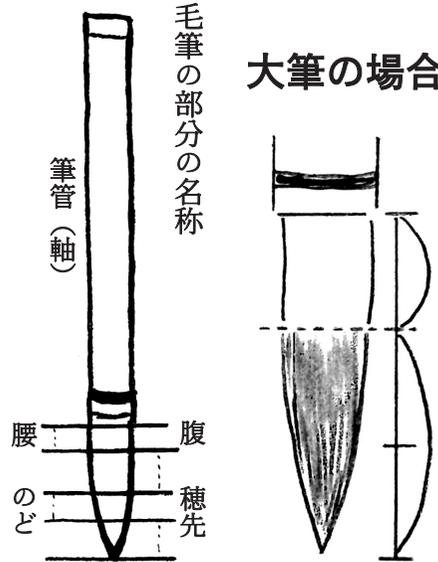
- 大筆や中筆は、一般的に3分の2以上おろして使う。（全部おろす場合もある）
- 小筆は、一般的に穂先の3分の1ほどおろして使う。

### 小筆の場合

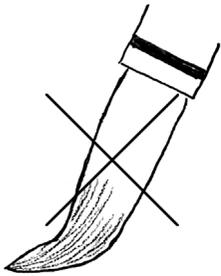


小筆や面相筆などの細筆は穂先をフノリで固めている。ほぐし方は大筆と同じように指先で少しずつ丁寧にほぐす。穂の先端から3分の1くらいをほぐして使う。これらの細い筆は特に穂先が重要なので筆おろしも慎重に行う。小筆は毛の量が少ないので、水に浸けなくとも指先でほぐれる。

### 大筆の場合

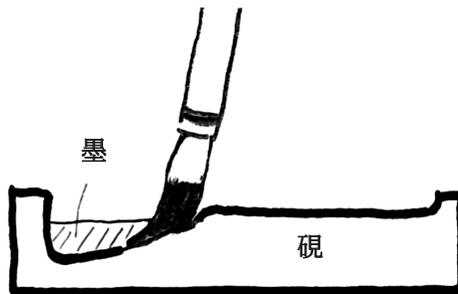


穂の先端から3分の2くらいまで、指先でゆっくりりと少しづつほぐす。穂先が硬い場合は水に浸しながら、少しずつ丁寧に揉みほぐす。ほぐした後は、墨（墨液）を含ませ、紙の上で穂先を慣らしてから使う。



途中までおろす場合は穂先を突くような乱暴なほぐし方は、絶対にしない。毛先が折れたり、毛に癖が付く原因になる。

ほぐしたところまで、墨を含ませる。書くときには、穂先をそろえる。



墨を含ませるときは穂先だけではなく、おろした部分にたっぷり含ませたのち、余分な墨を硯の縁で調整する。

# 筆のお手入れ

使用後は必ず洗った方がよい。穂の中に墨が残っていると穂先が固まって使にくくなったり、穂先が割れてしまう原因となるため。また、十分に乾燥させず水分が残っていると、毛にカビが発生し毛が抜ける原因にもなる。

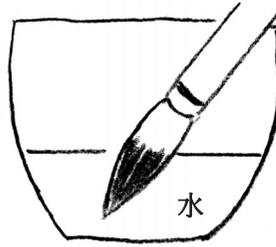
## 大筆の場合

紙などで丁寧にふき取る。  
その後、水でよく洗う。



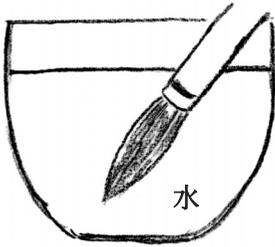
### 流し台を使う場合

。3分の2くらいおろした場合  
おろして墨をふくんだ部  
分のみを洗う。



容器に水をためて洗う。  
フノリで固めてある部分を  
洗わないよう気をつける。

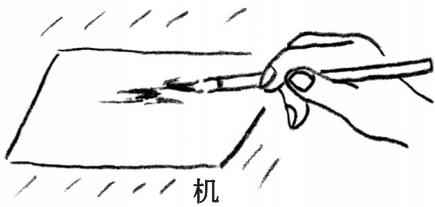
。全部おろした場合  
根本までしっかりと洗う



容器に水をためて洗う

## 小筆の場合

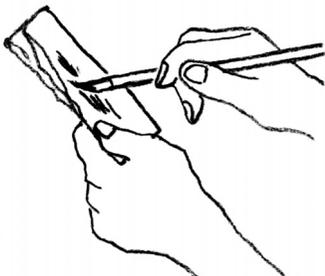
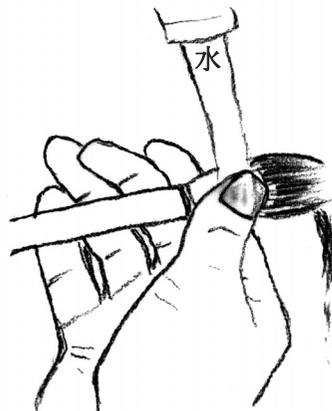
小筆は、大筆に比べて乾燥が早いので、穂先に墨だまりが出来ないように気をつける。



机の上にぬらした紙  
を置き、墨のついた  
部分をふき取り、穂  
先を整えておく。

### 流水で洗う

墨をふくんだ部分をよく洗う。  
フノリで固めてある部分を洗わな  
いよう気をつける。



手にもってふく方法もある

※水洗いすると根本まで筆  
がおりてしまうので洗わ  
ないよう注意する。

幼・1年

小一 こいけかな  
け

小一 そんつばさ  
てつ

2年

小二 いどうかい  
さつば

小二 たなかゆり  
ぐえの

3年

小三 打田ふうな  
花

小三 大谷まお  
山里

4年

小四 幸  
石崎  
ら花び

小四 石川千春  
土地

5年

小五 田島和子  
天体

小五 野木詩太  
り雨宿

6年

小六 永田洋子  
熱気

小六 中山友三  
き海開

中学

中一 三浦洋子  
地層

中二 大山花代  
北星

中三 松本亮太  
明日を  
探る

中三 本木ゆみ  
りふうん

編集余録

○3月5日、関東と東海で「春一番」が吹いたと発表されました。

○春季昇段級試験の締め切りは5月8日です。皆さん、一生懸命に練習をされていることと思います。現在、硬筆のお手本を二人の先生に書いていただいております。先日、筆記用具についてお話を伺いました。

幼・小学1年〜小学4年を担当される先生は、鉛筆は三菱のユニ・ハイユニのBが多く、他にハイユニのHB、(三菱は硬めなので)時々2Bも使うそうです。筆圧が強いので下敷きは使わないか硬い下敷きを使うことが多く、どちらにしても下に一枚紙を敷いているとのことでした。小学5年生〜中学生を担当している先生は、三菱のハイユニで5・6年生は3B、中学生は2B〜HB、そして下敷きは柔らかいものを2枚重ねて書いているとのことでした。そして消書の時、消しゴムは使わないそうです。是非、日頃の硬筆学習の参考にしてください。

○新中学一年生は新段・級の確認をよろしくお願いします。(菜扇)